

AIで創る 私たちの未来

2022年度 中高生世代向け AIプログラミング 講座



日程 全5回

1 2022.9.11 日
13:00~17:00

2 2022.9.25 日
13:00~17:00

3 2022.10.2 日
13:00~17:00

4 2022.10.9 日
13:00~17:00

5 2022.10.16 日
10:00~17:00

対象 AIを学びたい中高生世代
(全日程参加出来ること)

定員 15名

形式 BumBでの対面(1,5日目)
およびオンライン(2,3,4日目)

参加費 無料 ※交通費、受講用PC、通信機器や通信費等は自己負担

◆ 講座概要

1
AIを通じて
「探求する力」を
身に着けます

2
プログラミングで
AIを作ります

3
AIの精度を
より良くするために
試行錯誤します

人工知能の面白さや知識を学び糧とするだけでなく、
自分が不思議に感じる事や疑問に思うことをみつけ、
それを深く探求していきます。
仮説を立てて挑戦していくことで、自分の好奇心とつながり、
更に深く追い求める力が発動されていくことを体験します。

スケジュールと実施内容 対面、Zoomでのオンライン形式にて5日間、個人作業・チーム作業を行います。

9.11(日)	セミナー(4時間) [個人作業が中心] アイスブレイク(1時間) AIとは何かを理解する(1時間) AIがどう動いているかを知る(2時間)
9.25(日)	セミナー(4時間) [個人作業が中心] AIについての復習(1時間) AIを動かすための道具を知る(3時間)
10.2(日)	ワークショップ(4時間) [チーム作業が中心] 実際にAIを作ってみる(2時間) 作ったAIを改善する(2時間)
10.9(日)	ワークショップ(4時間) [チーム作業が中心] <任意> 作ったAIを改善する(4時間)
10.16(日)	成果発表(6時間) [チーム作業が中心] 発表準備(3時間) 成果発表(3時間)

対象者 下記①～⑪をすべて満たすこと。

- ① AIに興味があり、その仕組みを学び、活用してみたい。
- ② AIの学習を通して、プログラミングをしてみたい。
- ③ 受講用のカメラ付きのPCを用意できる。
(タブレット端末も可だがPC推奨、スマートフォン不可)
- ④ 中学で学習する数学に理解がある(方程式、関数、確率等)。
- ⑤ 数学的素養や論理的思考力が一定レベルに達している。*
- ⑥ 中高校生またはそれに準じる年齢。
- ⑦ 1日目と5日目にBumBに来館し、2日目～4日目の日程をZoomによるリモートで実施する事が可能であること。
- ⑧ 受講・活動期間中、積極かつ主体的に活動に取り組めること。
- ⑨ 受講・活動報告写真を東京スポーツ文化館HPでの公開に同意すること。
- ⑩ 参加について保護者の同意を得ること。
- ⑪ 原則、都内在住または在学、在勤の方であること。

*AI学習やプログラミングに求められる力を確認するために、
募集時に事前テストを受けていただき、参加者の選抜をいたします。
事前テストをWebで受験していただけます。
申し込みいただいた方全員にメールで受験方法をご案内いたしますので、
8月15日までに受験してください。(所要時間は1時間)



参加申込

東京スポーツ文化館の
中高生世代向けAIプログラミング講座

[ホームページ]

<https://www.ys-tokyobay.co.jp/social/#program>



上記ホームページのエントリーフォームから
必要事項を明記の上お申し込みください。

締め切り

2022年8月12日(金)

8月末日までに当否を連絡いたします。



講師・企画・実施協力

- **河合 徳親 (ヒューマンリソシア株式会社 受託推進室)**
2003年より総合人材サービス業にて就労支援を中心に就職に直結した教育業務に従事。
ヒューマングループに移籍後、大学や企業向けの営業の責任者として、資格取得支援やIT講座の導入提案から講座運営を手掛ける。
企業の事業展開や大学の研究等において「AIをどのように活用していくか」という点で、幅広い知見を有する。
- **岩井 重陽 (株式会社セック 開発本部 第四開発部 テクニカルマネジャー)**
1995年、株式会社セック入社。すばる望遠鏡観測制御システム、人工衛星の運用計画システムなどの開発に従事。
2017年に社内でIT教育事業を立ち上げ、学生向けIT教材監修、社会人向けプログラミング研修などの企画、営業、運営を担っている。
また、富士通系ソフトウェア業グループのFSA研修委員会では、デジタル革新研修WGの主査を務める。
- **日置 智紀 (株式会社セック 開発本部 第五開発部 主任)**
2010年、株式会社セック入社。非接触ICチップ搭載ソフトウェア開発などに従事後、2017年より同社IT教育事業の講師を担当。
IT基礎技術をはじめ、AI、ロボット、IoT、クラウドなど先端技術の研修も担当している。
日本ディープラーニング協会のE資格・G検定の資格を保有。理学博士。

お問合せ

BumB 東京スポーツ文化館 社会教育セクション 担当:大倉

TEL:03-3521-7323 / FAX:03-3521-3506 / e-mail:bumb@partners1.co.jp